

レジ袋の削減に向けた取り組みがスタートします

レジ袋の削減で得られる効果

ごみの減量

マイバッグを持参し、不要なレジ袋を断ることで、むだに捨てられるごみの量を減らすことができます。



石油資源の消費抑制

レジ袋を1枚生産するのに使用される石油の量は、約18.3ml。レジ袋の使用を減らすことで、貴重な資源である石油の消費を抑えることができます。

地球温暖化の防止

レジ袋の製造から処分までの過程で、1枚当たり約79gの二酸化炭素が発生します。レジ袋の使用を減らすことで二酸化炭素の発生を抑えることができ、地球温暖化の防止につながります。

環境に配慮したライフスタイルの実践

“使い捨ての生活”から“資源を大切に生活”へ見直すきっかけになり、環境に配慮したライフスタイルへの実践につながります。

市レジ袋削減推進協議会では、ごみの減量や地球温暖化防止に向けた取り組みに賛同し、レジ袋の無料配布中止などの運動に参加する事業者を募集します。皆さんの積極的なご参加をお願いします。

■対象事業者＝市内に店舗を持ち、10月1日からレジ袋の無料配布中止または無料配布中止以外の取り組み（右ページ参照）のうち、いずれかを開始できる事業者。なお、参加事業者は市レジ袋削減推進協議会や市と、レジ袋の削減に向けた協定を締結していただきます。

■応募方法＝本庁・環境課または牛深支所・環境課（牛深クリーンセンター内）、その他の支所・総務市民課に備え付けの申込書に必要事項を記入のうえ、8月31日④までに〒863-8631（住所記載不要）天草市レジ袋削減推進協議会事務局（天草市役所・環境課内）へ郵送または持参してください。

なお、申込書は市のホームページからも取得できます。

【問い合わせ先】天草市レジ袋削減推進協議会事務局（本庁・環境課内）
☎②1111内線1272

レジ袋削減運動
参加事業者を募集！

市内の事業者や市民団体、行政などで組織する「天草市レジ袋削減推進協議会（会長＝明瀬実・NPO美しい天草づくりネットワーク理事長、ほか委員18人）」では、10月1日から市内で使用されるレジ袋の削減に取り組むことを決定しました。これは、ごみの減量や地球温暖化防止対策の一環として行うもので、県内においては4つの自治体がレジ袋の無料配布中止に取り組んでいます。

そこで今号では、レジ袋の削減に向けた取り組みの方針などについてお知らせします。

取り組みの方針

【事業者】

（1）無料配布中止の取り組み

■内容＝①と②は必ず実施。

- ①レジ袋の無料配布中止（必要な人には^{*1}1枚3円で販売）。
- ②レジを通過する客への声かけ（レジ袋が必要かどうかの確認）。
- ③ポスターなどによるマイバッグ持参の呼びかけ。
- ④意思表示カードの設置。
- ⑤マイバッグの提供・販売。
- ⑥そのほか、レジ袋の削減に向けた取り組みとして同協議会が認めるもの。

■目標＝平成28年3月末までに^{*2}レジ袋の辞退率を80%以上。

（2）無料配布中止以外の取り組み

■内容＝次の項目から3つ以上を実施。

- ①レジ袋の辞退者へのキャッシュバックやポイントなどの特典の付与。
- ②レジを通過する客への声かけ（レジ袋が必要かどうかの確認）。
- ③ポスターなどによるマイバッグ持参の呼びかけ。
- ④意思表示カードの設置。
- ⑤マイバッグの提供・販売。
- ⑥そのほか、レジ袋の削減に向けた取り組みとして同協議会が認めるもの。

■目標＝平成28年3月末までにレジ袋の辞退率を40%以上。

【市民団体】

- （1）レジ袋の削減に取り組む事業者を支援する。
- （2）団体の構成員や市民へのマイバッグの持参を積極的に呼びかける。

【行政】

- （1）市民に対して、レジ袋の削減について広く理解と協力が得られるように啓発を行うほか、レジ袋の削減枚数などの活動実績について紹介する。
- （2）市民団体や事業者の取り組みに対して支援を行う。

※1）レジ袋を1枚3円で販売したときの収益金（販売代金から経費を差し引いた金額）については、参加事業者が行う環境保全活動や消費者への還元などに活用する。

※2）レジ袋の辞退率（%）については、次の方法を参考に算出。

- ①（レジ通過客数－レジ袋購入者数）÷レジ通過客数×100
- ②100－[(レジ通過客数－マイバッグ持参者数)÷レジ通過客数×100]
- ③各店舗で辞退率が算出できる個別の方法

※3）現金を払い戻すこと。

※「レジ袋の削減」について詳しいことは、天草市レジ袋削減推進協議会事務局（本庁・環境課内）
☎②1111内線1272へお尋ねください。